

平成26年度 経営協議会（第3回）議事要旨

日 時 平成26年11月21日（金） 10時30分～11時55分

場 所 東京学芸大学第一会議室（本部棟3階）

出席者 出口議長、長谷川委員、國分委員、増田委員、勝山委員、池上委員、佐藤委員、長津委員、樋口委員、吉武委員

I 前回の経営協議会の議事要録及び議事要旨について
議長から、配付資料に基づき説明があり、確認した。

II 議 題

- 1 国立大学法人東京学芸大学経営協議会規程の一部改正（案）について
長谷川委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 2 役職員の給与改定等（平成26年度）（案）について
長谷川委員及び勝山委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 3 年俸制の導入（案）について
長谷川委員及び勝山委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。
- 4 平成26年度収支予算（2次補正）（案）について
勝山委員から、配付資料に基づき説明があり、審議の結果、承認した。

III 報告事項

- 1 国立大学法人東京学芸大学の平成25年度に係る業務の実績に関する評価結果について
長谷川委員及び岸副学長から、配付資料に基づき、報告があった。
- 2 平成25事業年度財務諸表の承認について
勝山委員から、配付資料に基づき、報告があった。
- 3 平成26年9月29日以降の動向について
勝山委員から、配付資料に基づき、報告があった。
- 4 その他
長谷川委員から、本学の留学促進に関する取組状況等について、以下のとおり報告があった。
・平成25年度は短期海外留学プログラムを実施し、1週間から3週間程度、韓国・中国・ハワイ・オーストラリア等の協定校等10校へ訪問した。また、サマースクールをハンブ

ルグ大学及び台湾師範大学で開催し学生を参加させている。さらに、青少年交流事業として北京師範大学との交流を行い、10名の学生が相互交流を行った。平成26年度も青少年交流事業は継続させ、タイのコンケン大学との間で10名の学生が相互交流を行った。

- 本学基金の活用方針に留学支援を盛り込んでいる。短期間の留学に対して補助を行うことで留学促進を狙っている。平成27年度から平成31年度までの5年間、年間1千万円程度を活用し約100名に補助を行っていく予定である。

以 上